



Tokyo Tech

GSA制度の概要と リベラルアーツ研究教育院での実践

東京工業大学 リベラルアーツ研究教育院

教授 室田 真男

murota@ila.titech.ac.jp

2023年1月26日

1

GSA制度が目指すもの



Tokyo Tech

- 学びのコミュニティ環境の構築
 - 学びあい, 教えあい, 語りあいを通して,
 - 主体的に学習に取り組み,
 - お互いを尊重しながら,
 - 相互につながり, 成長していく環境
- 大学院生アシスタント (GSA, Graduate Student Assistant) を育成し, 学びのコミュニティ促進の中核に

現行の授業補助業務中心のTA制度から
主体的な学習支援を行うGSA制度への移行を目指す

2

GSA制度の概要



- ねらい
 - 人としての総合力, 自分力を向上させる
 - 「学び方」を理解し, 自らの学びを深める
- GSAに必要な基礎知識やスキルを教育
 - 授業やワークショップによる
- GSA Candidateとして実践
 - 実践を通して学ぶ
- GSAプログラム（教育＋実践）を修了すると
 - 教育革新センターより, 認定証が授与される
 - **その後, スキルを有するTAとして雇用**

3



4

GSAの種類と役割



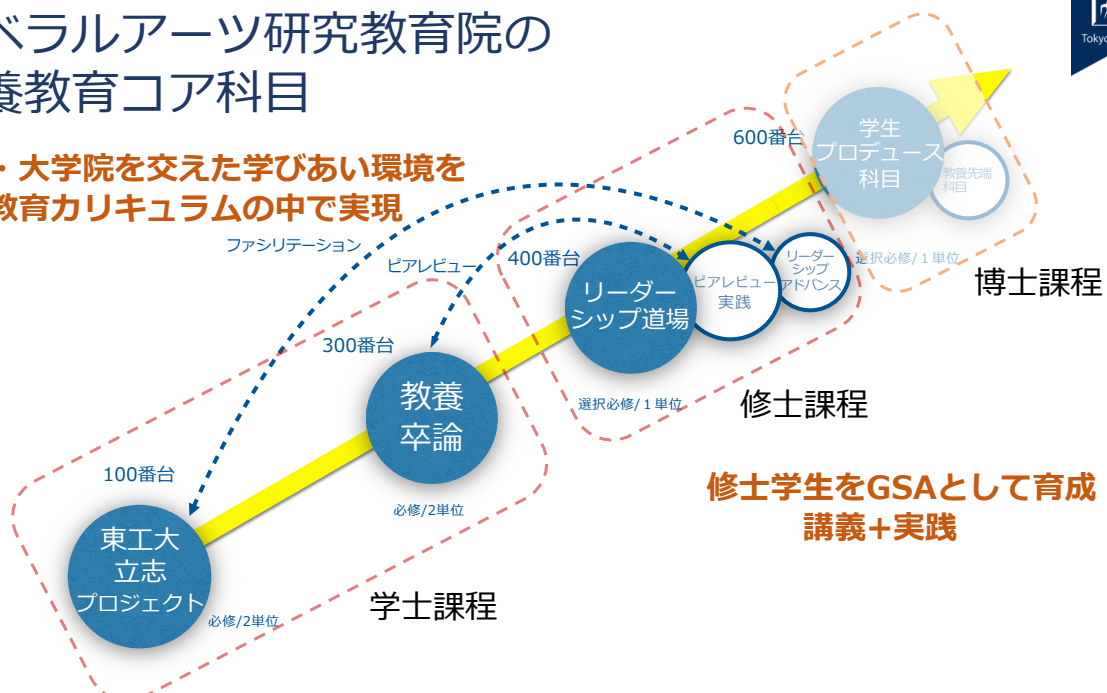
3種類のGSA

- **ファシリテーター (GSA-F) ILA**
 - ファシリテーターとして, 受講生の学びをサポートする
 - 受講生の主体的な学びを促すことを目指す
- **レビューアー (GSA-R) ILA**
 - ピアレビューアーとして, 受講生の文章作成をサポートする
- **デベロッパー (GSA-D) OCRD**
 - オンライン授業等で活用する教材制作を, 教職員や他の学生と協働で行う

5

リベラルアーツ研究教育院の 教養教育コア科目

学部・大学院を交えた学びあい環境を
教養教育カリキュラムの中で実現



6

リベラルアーツ研究教育院でのGSA育成



- 修士課程の文系教養科目（選択科目）
- 基礎科目としての「リーダーシップ道場」
 - 多様なリーダーシップ，特に，支援型リーダーシップ
 - チームビルディング
 - プレゼンテーション
- 実践科目としての
 - 「ピアレビュー実践」：レビューアー（GSA-R）
 - 「リーダーシップアドバンス」：ファシリテーター（GSA-F）

7

ピアレビュー実践（修士1年3Q, 4Q）



- 達成目標
 - アカデミック・ライティングの知識に基づいて，書き手の文章の問題点を見抜くことができる
 - 書き手自らが書き直しを行う「自立した書き手」になるよう，対話によって支援することができる
- 学士課程3年次の必修科目「教養卒論」執筆をサポート
 - 学士課程3年生に対するロールモデルとしての役割

8



リーダーシップアドバンス（修士2年1Q）

- ファシリテーターとしての知識を学び，実践を通して，ファシリテート力，学習支援力を身につける
- 学部新生の必修科目「東工大立志プロジェクト」の少人数クラスへ，ファシリテーターとして参画
- ねらい
 - ファシリテーターとしての経験を通して「学び」や「支援」をより深く考える
 - 学部新生に対するロールモデルとしての役割を担う



認定証授与式



認定証授与実績



年度	GSA-F	GSA-R	GSA-D	合計
2017	12	40	8	60
2018	24	57	10	91
2019	24	63	9	96
2020	33	32	11	76
2021	18	48	4	70
2022 (3Qまで)	33	40	1	72
合計	144	280	43	465

13

認定証保有者のTA雇用数



年度	GSA-F	GSA-R		GSA-D	合計
	立志 プロジェクト	3Q 教養 卒論	4Q 教養 卒論		
2018	1	0	14	14	29
2019	1	17	35	18	71
2020	4	27	11	19	61
2021	2	14	28	11	55
2022	7	17	18	6	48
合計	17	75	106	68	264

14